

「深い学び」を具現する授業デザイン例 図画工作

学習指導要領における領域・内容

小学校 〔第1・2学年〕「A表現」ア 造形遊び 題材名「いっぱいつかって なにしよう」

本時のねらい

洗濯ばさみを並べたりつないだりする活動を通して、材料の形や色を基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、自分ならではの活動を工夫することができる。

題材について

洗濯ばさみは、簡単につないだりはずしたりでき、多様な試みを促すことができる材料である。また、並べる、つなぐなどの同じ活動を繰り返す中で規則性のある形をつくりだしやすい。さらに、様々な色があり、その色や色の組み合わせから発想が膨らむ。活動は形から色へ、平面から立体へ、個人から集団へと多様に展開していくことが期待される。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
 <p>まるで並べたらお花みたいになった。花火にもできそうだな。</p> <p>ロボットをカッコよく立たせたいな。</p> <p>帽子や服にたくさんつけてきれいなドレスができたよ。</p> <p>お友達とファッションショーがしたいな。</p>	 <p>水色の洗濯ばさみを並べて魚をつくったよ。泳ぐのが速いんだよ。</p> <p>つないでいったら面白い形ができたよ。もっとつないでみようかな。</p> <p>なかなかうまく立たないな。どうすれば立つようになるかな。あ！こうすれば…。</p> <p>ピンク色のお花をたくさん並べて、お花畑をつくりたいな。でも、そんなにたくさんつくれるかな…。</p> <p>ぼくもまぜて！</p> <p>視点⑩</p>	 <p>たくさんの洗濯ばさみで、どんなことができそうですか。</p> <p>わあ！楽しそう！</p> <p>洗濯ばさみを並べてできた「形」と、ピンクと黄緑の「色」から花を発想したんだな。</p> <p>視点S</p> <p>こうすると花がつかれるんですね！この後どうするか楽しみだなあ。</p> <p>友達と力を合わせて、色とりどりのお花畑ができましたね。一人ではできなかったかもしれないですね。</p> <p>洗濯ばさみの形や色を生かして、使い方を工夫したアイデアがたくさん出てきましたね。</p>

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

- 活動にあたっては、子どもが思いのままに活動できる量の洗濯ばさみと、活動しやすい広さの場所を用意する。また、活動意欲を高める材料提示の工夫や、材料に触れた子どもの感覚や気持ちを生かして発想を促すような言語活動の工夫が導入のポイントとなる。活動中は、子どもの取組の様子や言葉から、形や色という造形的な見方・考え方を働かせ、表したいことややってみたいことを思い付いたり、表し方を工夫したりしていることを見取り、価値付け、周囲に広げていく。時間の経過と共に活動が変化し、作品が残らない造形遊びでは、活動の様子を写真や動画で記録し、振り返りの際に活用するとともに評価の資料として蓄積するとよい。(視点S→視点⑩)